

## 2017年度 大阪信愛女学院短期大学公開講座

## 生命環境総合研究所講座

開催日時	講 師	テーマ・内 容
第45回 6/11(土) 14:30~16:00	勝 順子 (大阪信愛女学院短期大学 特任教授・かなえグループ 本部統括部長)	人生100年、楽しく生きる～終末期医療のかかわりの中で～  「組織に属している人は、自動的に引退の時期を決められる。今のところ、定年は60歳くらいから65歳くらいまで。そのうち、70歳になるという。高齢化は進んで、自然に人手が不足になれば健康な人は75歳までは男女とも働いてもらうことになるだろう」曾野綾子さん 「引退しない人生」より 104歳の女性に尋ねた 「長く楽しく生きるコツは何ですか？」 「よくよ考えないことです。何でもいいのだけれど楽しいことをしながら暮らすことです。」 健康で過ごせる保障はない、いつ病気になるか、障害を抱えて生きるか、最期がどうなるか、を決めることはできない。 せめて、生きていくことに自分の意志を貫き通したいと思う。 どう最期を迎えるか、どう生きたいのか問い合わせはあるのか、一緒に考えてみたいと思います。
第46回 9/17(土) 14:30~16:00	小笠原 範昭 (小笠原事務所所長、社会福祉士、行政書士、主任介護支援専門員)	自分の生き方、大切な家族の生き方を守るために～成年後見制度でできること  厚生労働省の推計によると近い将来、65歳以上の高齢者の中8人に1人以上が、日常生活に支障をきたす程度の認知症になるとされています。もはや認知症は他人事ではありません。成年後見制度とは、認知症などで自分の生き方を自分で決めることが難しくなる方を支援する制度です。成年後見制度の概要と実践から見えてきた問題点を、お話しさせていただきます。
第47回 11/12(土) 13:30~15:30	寺田 裕美子 (笑福庭代表、大阪信愛女学院短期大学客員教授、兵庫県立淡路景観園芸学校非常勤講師、京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター客員研究员、アメリカ園芸療法協会認定園芸療法士)  本学卒業生園芸療法士他	園芸療法講座『こころと身体のケア～実践・園芸療法・福祉から～』  植物を育て、庭で過ごすことが、ひとのこころと身体の健康につながっている。これはいつの時代から知られていたことなのでしょうか。園芸療法やその先駆けとなった作業療法の歴史など源をたどり、病や命、健康に関する時代の変遷とその背景をご紹介します。また、現在の私たちのこころと身体の健康のために、どのように植物と関われば良いのかについて様々な実践をご紹介します。

児童教育研究所講座

開催日時	講 師	テーマ・内 容
第26回 6/4(土) 10:00～12:00	谷 均史 (淀川キリスト教病院 医師)	「子どもの発達理解をひろげよう-発達障がいの理解とその対応-」  子どもの発達や子育てに悩まれていらっしゃるお母さん、お父さん方（また祖父母や子どもたちにかかる大人の皆さん）を対象に、幼少期の発達障害についての理解を深め、対応の仕方を学ぶ講座を行います。障害名に固執するのではなく、わが子の発達特徴を正しい目でみつめ、子どもたちがすこやかに生活できる環境をととのえるためにも、より良いかかわり方、支援のあり方と一緒に学びたいと思います。 当日、講演終了後にイラスト入りの書籍販売やサイン会も行う予定です。

親子参加型講習会（主催：鶴見区役所保健福祉課 子育て支援室）		
未就学児親子が身体を動かしながら楽しく学べる講習会		
2017年 3/2(木) 10:30～12:00	楠本 未来 (大阪信愛女学院短期大学非常勤講師)	「歌と遊ぼう！親子で遊ぼう！」
	大阪信愛女学院短期大学 「幼児歌遊び研究会」	歌遊び
2017年 3/9(木) 10:30～12:00	荒木 雅之 (大阪信愛女学院短期大学助教)	「新聞紙で遊ぼう！」
	大阪信愛女学院短期大学 「幼児歌遊び研究会」	歌遊び
2017年 3/16(木) 10:30～12:00	原田 昌幸 (大阪信愛女学院短期大学准教授)	「動くしかけて遊んでみよう」
	大阪信愛女学院短期大学 「幼児歌遊び研究会」	歌遊び